



令和7年度 生駒市立生駒南第二小学校 学校便り 9月12日発行

二小だより

臨時号



2学期が始まり、2週間が過ぎました。まだまだ暑い日が続いていますが、いよいよ運動会の練習も始まります。子どもたちの体調に十分配慮しながら、練習を進めてまいります。

また、本校卒業の教育実習が9月8日～10月3日に1年1組と6年1組、9月22日～10月6日に4年1組で受け入れています。これらのクラスを中心に活動しますが、すべてのクラスで授業を見させていただきます。子どもたちとふれ合いながら、多くを学び、実りある4週間になることを願っています。先生達も、素敵な先生に成長してほしいと応援しています。

今回は、9月号に掲載できなかった「全国学力・学習状況調査」の結果及び、後期の教育相談の日時の案内について、臨時号としてお届けします。



教育相談について(ご案内)

日頃より本校教育活動に、ご理解ご協力を賜りましてありがとうございます。
さて、生駒市では、様々な教育相談を行っています。本校でも、毎月2名のスクールカウンセラー(臨床心理士)が、個別に相談をお受けしています。
お子様のことでご相談なさりたいことがある場合には、学級担任までお知らせください。

カウンセラー相談予定日

先生

10月10日(金) 13時～16時
11月14日(金) 13時～16時
12月12日(金) 13時～16時
1月16日(金) 13時～16時
2月13日(金) 13時～16時
3月13日(金) 13時～16時

先生

10月27日(月) 11時30分～16時30分
11月17日(月) 11時30分～16時30分
12月15日(月) 11時30分～16時30分
1月19日(月) 11時30分～16時30分
2月16日(月) 11時30分～16時30分
3月16日(月) 11時30分～16時30分

上記の日程にご都合がつかない場合には、ご相談ください。

また、生駒市教育支援施設(生駒市北新町)にも、週2回スクールカウンセラーが配置されていますので、そちらで相談していただくこともできます。

このほかにも、教育支援施設では、スクールソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)、教育相談員による相談も受け付けています。また、特別支援教育相談員(臨床心理士または特別支援教育の専門家)による相談も行っています。

これらの相談を利用なさりたい場合にも、学級担任までお知らせください。

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

4月17日に6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。

	国語 平均正答率(%)	算数 平均正答率(%)	理科 平均正答率(%)
本校	68.0	61.0	64.0
生駒市	72.0	64.0	61.0
奈良県(公立)	67.0	58.0	57.0
全国(公立)	66.8	58.0	57.1

本校の学力調査については、国語・算数・理科ともに、いずれも全国・奈良県の平均を上回る結果となりました。一方で、これからさらに力をつけていきたい課題も見えてきました。

【国語】「言葉の特徴や使い方」や「読むこと」が苦手な傾向にあるようです。特に、複数の資料を読み比べて必要な情報を選択・整理・再構成することに課題があると思われます。資料同士の関連を整理しながら読み取る機会を増やす、日常的に互いの意見を聞き自分の意見を発表する機会を持つことで、自分の考えをまとめて表現する力につなげていければと考えています。

【算数】分数の計算はよくできていますが、数字や言葉を使って説明することが難しいようです。また「測定」の分野では、目盛を正しく読み取ることに課題が見られました。思い込みに頼らず、計算で確かめるとともに、根拠を大切に「どうしてそうなるのか」を説明できる力を育てていきたいと思ひます。

【理科】「生命」の領域において、発芽の条件は理解していますが、観察や実験結果を比べて新たな問題を見だし、表現することに課題があるようです。科学的に事実を比較し、共通点や違いに気づき「もっと知りたい」という探究心を一層育てていくことが重要と思われます。

これらの課題を解決していくために、授業の工夫を重ね、子どもたちが学びを深められるよう取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、日常生活の中での会話や体験を通して、子どもたちが「考えを言葉で説明すること」や「気づきを表現すること」に挑戦できるよう、温かく見守っていただければ幸いです。

【質問紙調査の結果】

生活、考え方や行動についての質問では、大部分の児童が多くの項目で肯定的な回答をしていました。例えば、「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」「人の役に立ちたい」に肯定的な回答をした児童は100%でした。「人が困っているときは進んで助ける」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思い、「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童も8割を超えています。「先生によいところを認めてもらっている」に全員が肯定的な回答をしていることから、保護者や地域の皆さまから褒められ認められる経験が自己有用感や自信につながっているのだと感じます。主体的な学習に関する質問からは、子どもたちがさらに自分で考え・まとめ・伝える力を伸ばす必要があることがわかりました。そこで、教育研修部を中心に先生方が話し合い、子どもたちが自分の学びを振り返り、次の学習につながるような取組を2学期から実施しています。

これからも子どもたちの頑張っている姿や素敵などころをたくさん見つけて、温かい声をかけていきたいと思ひます。そして、調査の結果を全職員で共有し、今後の学習活動や学校生活の改善に生かしていきたいと考えています。保護者の皆様のご協力、よろしくお願いいたします。